

第 8 回

熊本県議会

決算特別委員会会議記録

平成27年11月20日

(平成26年度決算)

(審査結果の取りまとめ)

閉 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

第 8 回 熊本県議会

決算特別委員会会議記録

平成27年11月20日(金曜日)

午前10時2分開議

午前10時12分閉会

本日の会議に付した事件

審査結果の取りまとめ

- ・決算特別委員長報告の章立てについて
- ・「第3 歳入確保と予算執行」について
- ・「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」について

出席委員(11人)

委員長 吉 永 和 世
副委員長 湊 上 陽 一
委員 山 本 秀 久
委員 藤 川 隆 夫
委員 荒 木 章 博
委員 坂 田 孝 志
委員 高 木 健 次
委員 緒 方 勇 二
委員 前 田 憲 秀
委員 濱 田 大 造
委員 山 本 伸 裕

欠席委員(1人)

委員 浦 田 祐三子

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

出納局職員出席者

会計課長 瀬 戸 浩 一
課長補佐 杉 本 良 一

事務局職員出席者

議事課課長補佐 小 夏 香
議事課主幹 東 昭 宏

午前10時2分開議

○吉永和世委員長 それでは、ただいまから、第8回決算特別委員会を開会いたします。

これまで、第2回委員会から合計6回にわたって部局ごとの審査を行ってまいりましたが、本日は、決算の認否等及び委員長報告に向け、審査結果の取りまとめを行いますので、よろしくお願いいたします。

まず、委員長報告の章立てについてお諮りします。

お手元にお配りしております資料の中の案の1のとおり、昨年と同様、5章立てで作成したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○吉永和世委員長 次に、5章のうち、「第3 歳入確保と予算執行」及び「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」についてお諮りします。

内容は、それぞれ案の2、案の3のとおりです。

これは、これまでの部局ごとの審査において、各委員からいただきました多数の意見や要望につきまして、できるだけ委員会の総意となるよう留意しながら、重点を絞って取りまとめたものであります。

なお、ここで取り上げなかった項目につきましては、委員会会議記録に記載されますほか、当然、執行部において改善、検討が行われるものと考えております。

まず、案の2「第3 歳入確保と予算執行」であります。これは総論に当たる部分であり、各部局に共通する重要な点について取りまとめ、本委員会の基本的考えを示したところであります。

次に、案の3「第4施策推進上改善または検討を要する事項等」については、各論に当たる部分であり、各部局に関する事項について取りまとめたものであります。

それでは、まず、それぞれの案を担当書記に朗読させます。

○小夏議事課課長補佐 それでは、読ませていただきます。

(案の2)

第3 歳入確保と予算執行

次に、歳入確保と予算執行について申し上げます。

まず、歳入確保のうち、収入未済の解消については、関係部局の取り組みにより一定の成果は認められるものの、一般会計で約43億円、特別会計全体で約33億円が収入未済となっております。引き続き、貴重な自主財源の確保と公平・公正の観点から、組織を挙げて徴収促進に取り組むよう指摘したところであります。

次に、予算の執行については、厳しい財政状況の中、おおむね所期の目的を達成したものと認められます。

しかしながら、各部局において事務的経費の節減以外にも不用額を出している事業も多々見受けられますので、限られた財源をより効果的に活用するためにも、次年度の予算編成及び執行に当たっては、現場の状況を的確に把握するとともに、さらに工夫を重ねるよう指摘、要望したところであります。

以上、平成26年度決算の全般的な事項について申し上げましたが、本県財政は、数次にわたる行財政改革の取り組みにより、改善の兆しが見られるものの、依然として、厳しい状況が続いており、国の地方財政対策や経済の動向によっては、さらに厳しい財政運営を強いられるおそれがあります。

今後は、「幸せ実感くまもと4カ年戦略」に基づく施策の着実な推進、並びに2019年開催のラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権大会などの世界大会開催に向けた新たな取り組みがしっかり展開できるよう、一層の財政健全化に取り組むとともに、歳入面では税收の確保、未収金の早期解消等に、歳出面では一層の事務事業の見直しと効率的、計画的な執行に取り組むよう、求めるものであります。

(案の3)

第4 施策推進上改善または検討を要する事項等

審査の過程において各委員から出されました、施策推進上改善または検討を要する事項等について申し上げます。

「共通」

- 1 未収金の解消については、厳しい状況の中で、様々な債務者に対応しながら回収に努めていることは理解しているが、歳入の確保及び公平性の観点から、さらに徹底した徴収に努めること。

また、県税の未収金対策については、クレジット納付など具体的な収納率向上策について、議論を重ね、検討を進めること。(総務部、健康福祉部、土木部)

- 2 公用ETCカードの紛失については、複数の部局から事案が報告されており、管理体制の適正化について周知徹底を行い、再発防止に努めること。

また、職員に対しても厳格に指導すること。(総務部、環境生活部)

「健康福祉部」

- 3 不妊対策事業の不用額について、利用件数は伸びてきているとのことだが、さらに事業の周知に努めること。

「環境生活部」

- 4 有害鳥獣捕獲について、狩猟者が減

少、高齢化していることから、狩猟者の確保、育成を始め、適切な頭数管理に努めること。

「農林水産部」

- 5 クマモト・オイスターについては、ブランド化に向けて一定量を確保できるよう、さらに事業の推進に努めること。

「教育委員会」

- 6 特別支援学校について、特に熊本市において依然として教室不足が見られることから、熊本市とも協議・連携しながら、教室の確保に取り組むこと。

「企業局」

- 7 駐車場事業の指定管理者制度への移行について、民間の経営ノウハウの導入による県民サービスの向上が目的ということであるが、同事業の決算状況は良好であり、指定管理者制度の導入に当たっては、県としての利益が極端に損なわれることがないよう、十分検討のうえ進めること。

- 8 風力発電事業について、稼働して10年経過したが、発電量が当初の見込みを下回っている状況がある。

今後、機器の整備や故障への対応等が必要となった時に、累積赤字が拡大するおそれもあるため、対応を検討しておくこと。

「病院局」

- 9 病床稼働率が80.1%と、約30床が空いている。民間病院で対応が困難な患者の受け入れへの備えや短期治療型の取り組みは十分理解するが、そのうえで病院経営としての視点で稼働率を意識し、目標を持って取り組むこと。

以上です。

○吉永和世委員長 ただいまの案について、御意見があればお願いしたいと思いますが、

何か御意見はありませんか。

○荒木章博委員 教育委員会は誰もおらんとですね。教育委員会の特別支援学校については、熊本市では以前から協力しているということで、熊本市は特別支援学校はつくるということで実際動いているわけですよ。もっと違う形のいろんな意見が出たのをまとめるようなことを入れるべきではなかったかと僕は思うんですよ。スーパーティーチャーとか、いろんなスクール問題がいくつもある、地域とのふれあいとかがある、そういうところを、今後、今言っても仕方がないから、今回できとるけんですね。もうやるって決まっていることをあえてまた書くよりももっといろんなことがあったはずと教育委員会に伝えてください。以上です。

○吉永和世委員長 はい、ありがとうございます。ほかにありませんか。

○山本伸裕委員 取りまとめで御努力いただいたことに感謝申し上げますけど、委員長もおっしゃいましたように、委員会の総意となるように留意されているようなことで御尽力いただいたかと思うのですが、多数意見ではあるかもしれませんが、総意ではない部分として、委員会でも申し上げましたが、未収金徴収対策の問題で、払いたくても払えないようなことを抱えた方々がふえていると、そういうところに関しては、生存権、あるいは生活権を尊重する立場から、きちっとした、例えば分割払いであるとか、あるいは支払の延期であるとかですね、そういったことも配慮しながら強権的な取り立ては行わないとそういったことに十分配慮すべきではないかというようなことを意見として申し上げたところですけども、そういったところは是非、意見は反映していただきたいというのが私の要望です。

○吉永和世委員長 要望、先生方が言われた内容は、各課の方で御検討されるというふうに思いますので、その点は是非御理解をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○吉永和世委員長 ほかに、ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○吉永和世委員長 それでは、本日の審査結果を踏まえ、さらに検討の上、次回の委員会で委員長報告案を提案することとしたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、次回、第9回委員会は、12月1日火曜日、本会議終了後直ちに開会し、決算の認否等及び委員長報告案の審議を行いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、これをもちまして本日の委員会を閉会します。

御苦労さまでございました。

午前10時12分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

決算特別委員会委員長